

9月定例会 一般質問通告一覧表

個人質問							代表質問		
3	2	1	2	1	2	1	2	1	1
交通安全対策について	働く人たちの処遇改善について 南部地区の活性化について	本部町との友好のまち協定について	国民健康保険について 介護保険について	聴覚障害児支援の取り組みについて 子どもの医療費助成について	校区公民館のコミュニティセンター移行について 商工振興と買い物弱者対策について	ふるさと納税を活用した教育・子育て支援について 違法状態にある教職員の長時間労働の改善について	障害者福祉 スポーツ振興	ふるさと納税について 三國幼稚園について	高齢者のいきいき生活について
廣瀬 勝栄	田代 和誠	竹腰 昭	百瀬 光子	城山 雅朗	新原 善信	田中 雅光	大場 美紀	後藤 理恵	佐々木益雄
									入江 和隆
									理尚会代表 佐藤 尚武
									新和会代表 山田 忠



山田 忠議員
(新和会)

高齢者の交通事故対策について

①未然に事故を防ぐため、運転免許証の自主返納を推進する取り組みについて、②高齢者が免許証返納後も安心して生活できるような公共交通の利用環境の整備についてお尋ねします。

市長―①高齢者関連事故は年々増えており、市では、交通安全指導の普及、交通道徳の高揚に關して、高齢者交通安全大会等交通事故防止に向けた市民啓発を行っています。

総務部長―①福岡県では、市町村が実施する運転免許証の自主返納者支援に関する取り組みに対し、助成制度が設けられています。本市でも、高齢者の事故防止を図るため、来年度からの事業実施を考えていきます。

環境経済部長―②生活路線として使えるようなコミュニティバスを目指して、利便性の向上を検討しています。本市には西鉄電車やレールバスといった他の交通機関もありますので、市と

しての公共交通体系を早い時期に提案させていただきます。

高齢者の居場所づくりについて

①高齢者のひとり暮らしや高齢者のみで暮らす世帯が増える傾向にあり、地域で孤立する高齢者の増加が予想されますが、その対策について、②空き家や公民館を利用した地域での取り組み支援についてお尋ねします。

市長―①住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるため、多くの高齢者が気軽に集い、交流する新たな居場所づくりを検討しています。今後、各行政区の実情に合わせた体制づくりを推進していくことで、地域福祉活動の担い手の育成や地域で助け合いや支え合いのもと、住み慣れた地域で安心して暮らしている基盤づくりに努めます。

保健福祉部長―②空き家を利用して、認知症予防や健康体操等高齢者の居場所づくりに取り組まれている宝城つどいの家があります。こういった取り組みに対して、住民主体型介護サービス事業運営費補助金を交付し支援しています。



佐藤尚武議員
(理尚会)

ふるさと納税で増収を!!

平成28年の全国ふるさと納税額は2844億円で、近隣では佐賀県上峰町が約45億円、久留米市が約20億円、本市は約2300万円です。また、外部納税が約3300万円と筑後地区12市町で赤字は大牟田市と本市だけです。増収と魅力ある御礼品の開発による地域の活性化を図るべきです。そこで、**①現状について、②増収対策について、③御礼品について、④寄附金の使途を奨学金等に拡大することについて**をお尋ねします。

市長―**①寄附額は、県内28市中24位で指摘の通り赤字です。寄附額増大を急ぐ必要があり、市のPRや新たな特産品の発掘や開発など、地域の活性化につながる**ことが重要です。**②億単位の納税額を目指します。③検索性や申し込みを行うインターネット窓口を増やし、観光協会との連携による地域に密着した特産品の発掘、開発を進めます。④**

市の物産品をPRし、企業と共に魅力的な商品づくりを進めます。**④教育や子育て等の分野を選択頂けるような寄附金の形を今年度中に実現します。**

教育で小郡が変わり人が成長!!

少子化が進行しています。出生数の増加には、将来に希望の持てる社会が必要で、そのためには教育が一番大事だと思います。そこで、**①公共施設のトイレの洋式化推進について、②温暖化対策・エコ教育について、③市独自の奨学金の創設について**をお尋ねします。

教育長―**①小中学校のトイレの洋式化率は44.2%です。財政面も考慮しながら、早急に洋式化を進めるよう検討します。②地域省エネビジョンにより、2008年比でエネルギー消費量10%削減に向け取り組んでいます。ごみ減量アドバイザーやクリーンヒル宝満の視察研修等を積極的に活用しています。③**国の制度との整合性を図り、奨学金の役割をしっかりと検討し、本年度中に方向性を出したいと考えています。



入江和隆議員
(東和会)

高齢者支援について

高齢者支援充実は大変重要な課題です。**①現在4つの行政区で民生児童委員が不在ですが、その原因と対策について、②高齢者見守り活動の担い手として福祉補助員制度導入の必要性について、③校区単位の地区社協を設置し、各種福祉活動に取り組む制度の検討について、④地域見守り活動を行う場合、区長や福祉協力者などの担い手にも見守り台帳の基本情報を共有できると明記されていますが、その現状について、⑤高齢者支援の基本的な考え方を示す高齢者福祉計画・介護保険事業計画は**

来年度から第7期計画がスタートしますが、第6期計画の評価をどのように活かすのか、お尋ねします。

市長―**①ふれあいネットワーク活動では民生委員児童委員など一部の限られた方々へ負担が集中しており、福祉活動への市民参画、担い手の育成等により地**

域での高齢者支援の充実にあります。**②福祉協力者など**のあり方は、行政区によって活動の内容、選任方法、位置付けなどが異なり、画一的制度化は困難で、行政区の実情に応じて個別に支援します。**③地区社協の必要性**については十分認識していますが、既に、校区で活動されているまちづくり協議会の健康福祉部会を活用しながら、どのような機能や役割を加えるのかなど、今後検討します。

保健福祉部長―**④現時点で見守り支援台帳の情報提供を行っているのは10の行政区です。今後は、台帳を平常時の見守り活動に活用できる体制づくりを進めます。⑤**昨年度、高齢者福祉実態調査を行い、福祉や介護現場で実施した課題調査も含めて第6期計画の事業検証を行い、第7期計画に反映させていきたいと考えています。



佐々木益雄議員
(清風会)

期待が大きい(仮称)味坂スマー
トインターチェンジ！

「九州道鳥栖〜久留米間に新
インターチェンジ、来年度の事
業化検討」の新聞報道があり、
市民が注目しているところで
が、**①進捗状況**、**②設置箇所と
費用負担割**、**③整備効果と経済
効果**、**④接続方法**、**⑤味坂校区
への接続について**お尋ねします。
市長―今年8月31日に2県2
市をはじめ地方整備局、国道事
務所、ネクスコをメンバーとし
た準備会が発足しました。

都市建設部長―**②**現在準備会で
協議しており、詳しい場所や費
用負担割を決定していきます。
③福岡・熊本方面への利便性向
上や大規模災害時の緊急活動や
経済活動への大幅な効果が期待
され、周辺開発にもつながり経
済的効果がアップします。**④**大
型車等通行できるETC搭載車
両で本線に直接接続する本線直
結型を予定しており、鳥栖市側
は3号線に小郡市側は県道久留

米・小郡線に結ぶ想定です。
市長―**⑤**周辺地域の活性化、経
済効果も考えて進める必要があ
り、今後の課題として取り組む
べきと考えています。

大丈夫??児童の安全対策は！

交通事故死傷者は7歳児に多
く特に日中が73%、薄暮時と合
わせると93%と際立っており、
文科省は交通安全教育の徹底を
図る指針として交通安全指導手
引きの交付と共に、総合分析セ
ンターでは入学前の繰り返し指
導と積み重ねが大事だと分析し
ていますが、**①**児童への安全指
導や対策、**②**危険個所の点検、
③カラー舗装整備の具体的な取
り組みについてお尋ねします。

教育長―**①**小郡警察署より交通
安全教室や交通ルールの周知又
保護者と地域の方が見守りやパ
トロールを行い通学路の安全対
策に取り組んでいます。
教育部長―**②**合同点検を実施し
通学路安全推進会議を開催、警
察・県土整備・市・学校による
対策を実施し確認しました。
都市建設部長―**③**カラー舗装は
事業効果も大きく今後も継続し
て整備の推進をしていきます。



後藤理恵議員
(理尚会)

高齢者のいきいき生活について

日本では世界で類をみない超
高齢社会が進んでおり、ひとり
暮らし老人の増加に伴う介護問
題や買い物難民の増加などのマ
イナスの影響が多く語られてい
ます。しかし、経験に富み、元
気で行動的な高齢者が増加して
いるのも事実です。各地方自治
体において、高齢者になっても
住み慣れた地域で自分らしい暮
らしを続けていくことが大きな
課題となっています。そこで、

①高齢者が自ら健康維持増進を
心がけ、健康づくりに積極的に
取り組むことのできる環境づく
りの一環として、市内の公園へ
の健康遊具の増設について、**②**
地域に根ざした高齢者の社会参
画や生き甲斐づくりのために、
校区におけるシルバー人材セン
ターの窓口増設について、**③**高
齢者の孤食の問題に関して、コ
ミュニティにおける予防策とし
て、自治公民館や校区公民館を
活用し、「ふれあいカフェ」的

な場づくりに対する行政支援に
ついて、市の見解等をお尋ねし
ます。

市長―**①**健康遊具のあり方につ
いては、費用対効果や本市への
取り入れが可能かどうか、他自
治体等を研究し、検討します。
②いろんなシニア世代の活用に
ついて、幅広く検討していきま
す。

保健福祉部長―**③**様々な地域課
題がある中で、地域の中で自主
的な取り組みをして頂くのは、
非常に重要であるため、市とし
ての支援を考えていきます。





大場美紀議員
(清風会)

ふるさと納税について

教育・福祉・まちづくりなど、あらゆるものに多額の税金が必要とされる中、国が地方自治体のために考えた政策を活用しないのか疑問です。ふるさと納税事業により、地元の魅力を発信し、地域経済の活性化につなげる動きもあります。地域農商工一丸となり小郡の魅力を全国アピールする、ふるさと納税事業に努力すべきです。①今後の取り組みについて、②寄附金の使い道の選択についてお尋ねします。

市長 ①ふるさと納税をきっかけに、特産品や商品開発、生産が活発に行われ、その過程の中で市内の事業者や生産者が、様々な形でつながり、地域産業を活性化していくという視点が重要であると考えています。今後はこれまでの取り組みとは違う体制で、より積極的に寄附額の増加を目指します。②寄附金の使い道の選択や寄附金を活用

した事業の実施状況の公表など、寄附してくださる方の目線での見える化も今後の課題であると考えています。

三国幼稚園について

今後新しい住宅地区が開発され人口増加が見込まれる中、①保護者が訴える公立幼稚園3年保育、預かり保育実施を検証せず休園に至ったことは、どう考えられていますか。②三国地域は高齢者住宅も多く、子どもたちが集まることで、安心・安全が保たれています。今後、どのように取り組まれるのかお尋ねします。

教育長 ①平成22年度に子ども子育て新システムが提案され、保育所、幼稚園をまとめてこども園にする動きがあり、国の方針が決まるまで、各自治体が全く動けない状況がありました。が、園児獲得のため様々な取り組みを行ってききました。

市長 ②マニフェストでも、この問題について打ち出しています。今後、市民の皆様の声を聴きながら共に検討していきます。



田中雅光議員
(公明党)

障害者支援について

来年度に向けて第5期障害者福祉計画・第1期障害児福祉計画が作成されています。①その中で、地域支援への移行や就労移行支援の強化が問われてきます。継続的な就労移行を支える上で、障害者優先調達推進法に基づき積極的な物品の購入及び

役割の調達をさらに計画的に推進することについて、②今、気管を切開して気道を確保したり胃ろうや経管栄養を行っている医療的ケア児が増加しています。が、親のレスパイトに繋がるショートステイやデイサービス等の施設が不足しています。医療的ケア児に対応できる受入体制の整備についてお尋ねします。

保健福祉部長 ①今後さらに優先調達を拡大していくために、施設等と連携して、対象となり得る物品、役務の検討を行っていきたくと考えています。さらに民間企業にも優先調達の周知を図り、施設等へ発注増や、本

市の基幹産業である農業を障害者の就労の場として提供する福農連携の取り組みも検討していきたくと考えています。②医療的ケア児が通所できる事業所はほとんどないのが現状です。保護者のレスパイトの問題もあるので、医療的ケアを提供できる事業所の増加についても、障害児福祉計画の中に盛り込んでいきたいと考えています。

スポーツ大使について

過去に2度ほど提案していますが、小郡市出身の浦和レッズの猶本光選手や阪神1軍の中谷将大選手等が活躍されています。今後、市のスポーツ大使として任命するなど、市で顕彰していくことについてお尋ねします。

市長 小郡出身の選手をスポーツ大使としてスポーツの振興や観光PRに協力してもらうことは、とても意義あることだと思います。今後スポーツ大使の創設に向けて、制度の研究並びに大使への就任の可否についても調査して、前向きに取り組んでいきたくと思います。



新原善信議員
(市民クラブ)

ふるさと納税で奨学金を

ふるさと納税を活用した市独自の奨学金を創設し、子どもたちを支援するべきだと思いますが、お考えをお聞かせください。

教育長 現在の奨学金として、県教育文化奨学財団が無利子で奨学金等を貸与しています。また、県では高校等に入学した生徒がいる市民税非課税世帯等の低所得者に対し、学用品や修学旅行等の経費への支援を行う高校生等就学給付金を支給しています。大学等については、日本学生支援機構等が奨学金等を貸与しています。市独自の奨学金制度の創設については、現在総合的に検討するために庁内奨学金検討委員会で検討を行っています。国でも議論がなされており、その動向と整合性を図りながら検討を進めます。

過労死状態の

教職員の長時間労働を変えよう

中学校教員の長時間労働の原因として部活動が指摘されてい

ます。また、管理職の時間管理責任が不明確です。教育委員会はどのように取り組みますか。

教育長 ノー部活デーを平日の週1回に加えて、土日の月2回以上の実施を徹底し、29年度に文部科学省が作成する部活動のあり方に関する総合的なガイドラインを踏まえ、校長会等とも意見を交換しながら、さらなる長時間労働の縮減に向けて取り組んでいきます。また、中体連の部活の試合の適正化と同時に、各種協会が実施するものについては、県とぜひ協議をしていきたいと思えます。管理職に対する意識付けは、これまでも園長校長連絡会で、時間外勤務に関する法令上の根拠や安全衛生委員会の資料を配布の上、指導を行ってきたところです。また、学校訪問の際、管理職をはじめ全職員に啓発を行ってきました。今年度は各学校で、1学期の状況を踏まえ業務改善を検討していただくこととしています。今後、管理職に対する勤務時間管理等の研修会について取り組みを行うしていきたいと考えています。



城山雅朗議員
(新和会)

校区公民館をコミュニティセンターに移行し、今まで以上に地域住民の自由な活動の拠点へ！

移行により、法律に縛られず、より自由な利用が可能となります。例えば住民がサークルで作した物や障害児者の施設で作製された物を販売する事が出来ます。また、将来的に病児・病後児の預かりや障害者のデイケア、高齢者支援のための地区社協の設置など、様々な課題に対応する拠点とすることも可能です。ご見解をお尋ねします。

市長 校区公民館は地域社会や住民の要望や期待に応える事が強く求められます。まずは増築予定の味坂校区公民館をコミュニティセンター化し、それをモデルに各校区公民館へ積極的に取り入れていきます。

商業の活性化について！

活性化に対して、これまで創業ワンストップ窓口の設置を始め、創業の初期経費や空き店舗での開業に対する家賃の一部

補助など、過去に要望したものを取り入れて頂きました。今年3月、新たに商業活性化計画が策定されましたが、計画に対する市長の構想をお尋ねします。

市長 店舗への支援と共に課題意識を持った事業者の発掘育成を図り、またJA等の各種団体との協力体制を構築し、地域と連携して商業だけでなく地域も一緒に活性化する事が大切です。

買い物弱者対策について

商品の配達や移動販売もありますが、買い物は脳トレや運動、そして人とのふれあいにも繋がります。また、私は公民館がコミュニティセンターに移行した場合、地産地消、農業者支援、買い物弱者支援にも繋がる農産物直売所構想を推進したいと考えています。買い物弱者支援のための自治会バスの運用拡大についてご見解をお尋ねします。

市長 自治会バスは買い物や交通弱者支援だけでなく地域福祉の面でも効果を発揮しています。今後課題の把握に努めると共に積極的に支援していきます。

※自治会バスとは校区ボランティアで運行される乗り合いバス



百瀬光子議員
(公明党)

先天性難聴の

早期発見の取り組みについて

先天性難聴は早期に発見し、治療や療育を開始すれば、ことばの発達遅れを最小限に抑えられることが可能です。その為には、全新生児に対する聴覚検査の実施が重要です。本市における取り組みについてお尋ねします。

市長 10月から新生児訪問時に新生児聴覚検査の受診状況を確認していく予定です。それに合わせて周知啓発を行い、要支援児の状況も確認します。

保健福祉部長 市内の3か所の産科医院では新生児聴覚検査ができる体制が整っており、検査を実施しています。

難聴児への公費助成について

子育てしやすい環境整備の一環として、また障がい者福祉の面からも公費助成による支援は必要です。そこで**①**新生児聴覚検査について、**②**補聴器の購入について、**③**人工内耳体外装置

や専用電池等の買い替えに対する助成についてお尋ねします。

市長 **①**公費負担により受診率が向上し、保健福祉サービスの早期受給につながると認識しています。今後、関係機関に要望してまいります。**②**聴覚障害の手帳をお持ちの方は自立支援給付費負担金事業の対象、軽度中等度の方は難聴児補聴器購入費助成事業の対象となり助成を受けることができます。**③**地域生活支援事業の日常生活用具給付事業の助成対象とするよう補正予算に計上しています。

子ども医療費助成拡充について

人口減少が加速する中、子育てしやすい環境整備の拡充はますます重要になっていきます。そこで、子ども医療費助成の拡充についてお尋ねします。

市長 小郡市の子ども医療費助成制度は子どもの健康及び福祉の向上を目的とすると同時に、子育てをする家庭の経済的負担の軽減にも貢献している制度です。他の市町村の状況を確認し、子育て支援の視点から小郡市にとってふさわしい拡充内容を総合的に検討してまいります。



竹腰 昭議員
(共産党)

国の行政指針が

小郡市に及ぼす状況について

小郡市における国民健康保険の現状に関し、**①**国保特別会計の累積赤字額について、**②**累積赤字解消のために、一般会計より国保特会に繰り入れする手段がありますが、今後の取り組みについて、**③**国保広域化により、都道府県が納付金を納めるために必要な標準保険料は小郡市ではどうなるのか、お尋ねします。

市長 **①**小郡市の昨年度の国民健康保険事業特別会計の決算状況では、実質収支額は5億3323万5千円の赤字となっています。歳入では、一般会計からの法定外繰り入れ、共同事業交付金の増加、退職者医療への振替による療養給付費交付金の増加があり、歳出では医療費が前年の年比で0.07%の伸びと、直近の5年間で最も低い伸びで、また医療費適正化の取り組み等により、単年度収支では1億6770万5千円の黒字です。こ

れに伴い、累積赤字は平成27年度7億94万円から5億3323万5千円と削減されていますが、国保財政は厳しい状況です。**②**一般会計から国保特別会計への法定外繰り入れとして、平成26年度より1605万1千円、平成27年度からは毎年度8千万円の繰り入れを行っています。今後も一般会計からの繰り入れを継続して行きたいと考えています。**③**本年12月末には、国から県に改めて確定計数が示される予定で、それを基に県が平成30年度の最終的な納付金、標準保険料率の確定を行い、来年1月には国民健康保険事業費納付金と標準保険料率が市町村に提示される予定です。





田代和誠議員
(東和会)

交通安全対策

「危ない！はみ出し樹木」

何度も質問をさせていただいているはみ出し樹木については、平成27年度からの積み残しで、現在未解決の場所が11件あり、所有者は全てわかっているとのことですが、問題解決に対する熱意や対応の遅れ、地域との連携や広報の弱さを感じます。解決した場所には、地域の方々の厚意でやっていただいているところもありますので、任せるばかりではなく、行政がコーディネートして問題解決の糸口を作ることが重要だと考えます。今後の対策をお尋ねします。

市長―市では、安全かつ安心して道路を利用できるよう、道路パトロールによる情報の収集などを強化し、はみ出し樹木の把握に努めています。また、地域の皆様の活動の中で目配りをしていただくことにより、通行の支障となるような危険箇所について詳細な情報を得ることができ



ければ、より迅速な対応につながりますので、今まで以上に地域と連携、協力して問題解決を図っていききたいと考えています。都市建設部長―未解決の場所には通行の際に危険となる場合がありますので、地元の方々と協議を行い、市で出来ることは、しっかりと対応していききたいと考えています。

その他要望について

これからの時代は、携帯端末を使って写真で知らせることのできるシステムの構築が必要だと感じます。交通安全対策はもとより災害被害など様々な用途に活用できることから情報収集の手段として検討をお願いいたします。



廣瀬勝栄議員
(市民クラブ)

働く人たちの処遇改善について

小郡市の公務職場における非正規労働者の現状や処遇について、働き方改革の動きの中で今後どのように対処していくのかお尋ねします。

市長―嘱託職員の報酬や賃金、手当、休暇等については、国、県や近隣市町村の状況を踏まえながら一部改善に取り組んできましたが、根本的な問題が放置されてきたことは否定できません。今後、国において同一労働同一賃金のガイドライン案をもとに法整備が行われる見通しになっていきます。本市においても国や県の動向を注視しながら、嘱託職員等の処遇改善について検討を進めるとともに、根本的に基本的な考え方に立って制度の運用を進めていききたいと考えています。

南部地域の活性化について
(仮称) 味坂スマートイン
ターチェンジの設置計画に伴う本市の総合振興計画、土地利用

計画の今後の考え方、特に南部地域の活性化についてお尋ねします。

市長―(仮称) 味坂スマートインターチェンジの設置により、交通の要衝としての地域資源へのアクセスが向上し、企業立地や開発、雇用の拡大などが南部地域に見込まれると考えています。各計画における位置付けについては、これから決まってくる部分も多く、その設置の検討と並行して、本市の各種計画についても整備を行いたいと考えています。

交通安全対策について

①味坂ライスカンター西交差点信号機の改良について、②歩道のカラー舗装についてお尋ねします。

市長―①定期周期信号機が早急に設置できるよう、小郡警察署を窓口として県警本部と協議を進めています。

都市建設部長―②路側帯のカラー舗装等により歩行者の安全対策を図っていききたいと考えています。